

『香港・台湾・中国—台頭中国で変化の兆し“3つのチャイナ”』

主催:中嶋嶺雄研究会

後援:一般財団法人・アジア・ユーラシア総合研究所

日時:2018年11月10日(土) 午後1時半~同5時

場所:桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)1階ホール

渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 地図参照。

参加費:2000円(資料代等)

パネリスト(登壇順)

<>内は演題

中園 和仁・武蔵野大学教授 <政治から見た香港の将来—沈むだけなのか>

森 一道・静岡大学非常勤講師・経済産業調査 New Asian Invesco(HK)社長
<経済から見た香港の将来—中国との相互作用>

福田 円・法政大学教授 <中国にとっての香港・台湾とは—優遇と圧力>

パネリスト 自由討論

———休息(10分間)———

山崎 直也・帝京大学教授 <台湾人意識と変容する中台教育交流>

松田 康博・東京大学東洋文化研究所教授
<米中日トライアングルから見た台湾>

濱本 良一・国際教養大学教授 <中国・香港・台湾の将来—3チャイナを巡って>

パネリスト自由討論

(司会:井尻 秀憲・東京外国語大学名誉教授)

参加申し込み・問い合わせは <http://www.nakajimaworks.com/>
HP「Works Nakajima Mineo 諸論説」